

クラスの夏休みマップ（第7時）

() 組 なまえ_____

領域・形態・時間	聞くこと・話すこと [やり取り] クラス全体で数える→1人1枚 第7時10分
ねらい	クラスの夏休みマップを読み、世界の子どもとの「同じ」「ちがう」を見つける。

やり方 この流れでやってみよう

- 1 Did you eat watermelon? Raise your hand!
先生が12のしたことを順にたずねる。した人は手をあげる (stayed home も同じように数える)
- 2 Count! One, two, three...
手の数をみんなで数えて、マスに人数を書く
- 3 Look at the map.
マップを見て、気づいたことを1つ書く (日本語でよい。だれがしたかは書かない)
- 4 Same or different? I went camping, too!
教科書OHの子どもと比べて同じ・ちがうを1つずつ書き、ちがう1つをIの文で言う

かぞえよう 先生がたずねる→した人は手をあげる→手の数をマスに書こう

したこと	人	したこと	人	したこと	人	したこと	人
1 ate watermelon		4 went swimming		7 played games		10 stayed home	
2 ate shaved ice		5 saw a festival		8 read a book		11 saw a movie	
3 saw fireworks		6 went fishing		9 watched TV		12 クラスで決めた1つ	

よみとろう マップを見て書こう (日本語でOK)

マップを見て気づいたこと	
--------------	--

世界の子どもとくらべよう 教科書の子どもの夏休みと、同じところ・ちがうところを1つずつ

同じ (Same!)		言えたら○	☐
ちがう (Different!) Iの文で		言えたら○	☐

ルール

①数えるのは手の数 (したことごとの人数)。場所の遠さや人の名前で並べない ②手をあげるかどうかは自分で決める (しなかった人は数えない) ③stayed home も同じように数える ④人数の多い・少ないで「すごい」「さびしい」と言わない (だれがしたかは聞かない)

☆レベルアップ!

世界の子どもの夏休みで、マップの12のどれにも入らないことを1つ見つけよう (日本語でメモしてよい)。

クラスの夏休みマップ（第7時）〔先生用メモ〕

児童に配るのは、この前のページまでです。このページから先は先生の手元に置いてください。

先生へ（運用のコツ・中間指導）

- ・拡大した1枚を黒板に貼り、先生が最初の3つ（ate watermelon / ate shaved ice / saw fireworks）を数えて見せてから配る。「どこに書くの」で止まる子がゼロになる
- ・◎数えるのはしたことごとの人数だけ。行った場所（海外・テーマパーク）で手をあげさせない。計画の第7時を「思い出ランキング発表」から「夏休みマップ」に書き直したのはそのため——人に順位はつけない・思い出の豪華さも比べない
- ・stayed home は10番目に、ほかと同じ顔で並べてある。第6時の Small Talk②で先生が先に言っておくと、ここで手があがる
- ・夏休みの話が遠い時期なら、週末のマップにしてもよい。数えるのは人数だけ——場所の遠さや人の名前は比べない（ねらいの裏の決まり）
- ・◎この紙は評価に使わない。第8時の下ごしらえ——先生の Did you ~? に手をあげて答える経験を全員が一度した状態でテストに行ける。世界の子どもとの「ちがう」をIの文で1つ言えたら、思い出トーク本番②の準備は済んでいる